

令和2年度 第11回及び第12回 座間市地域包括ケア会議及び在宅医療推進協議会（書面会議）の
地域包括ケア会議における報告書

1 第11回座間市地域包括ケア会議及び在宅医療推進協議会（書面会議）

1) 危機管理課との意見交換会に向けて事前質問

（歯科医師会 須藤委員）

座間の防災の歴史を講義していただき、実際に過去の歴史でどこの地域でどれくらい被害があったのかを教えてください。

（ざま介護支援専門員協会 藤川委員）

避難所では、車いす対応や酸素供給のための電源確保は可能か。車いす使用の方は、階段昇降はもちろん、床からの起き上がりや立ち上がりが困難な場合が多いが対応してもらえるか。

（病院ソーシャルワーカー 石川委員）

水害・土砂災害等、複数の災害が広域にわたって起こる可能性があるかと思います。災害マップに示されております各避難所の収容人数はどの程度になりますでしょうか？

満員の場合、他に回されるケースもあるかと思いますが、周知しておくのも大事かと思います。

（通所介護事業所 石黒委員）

通所介護施設として

- ・通所中、送迎中の災害（地震、火災）の対応と事前準備
- ・災害時の通所施設提供等の可能性と想定事項、事前準備等

（小規模多機能 筒井委員）

小規模多機能の通いは1日15名を受け入れています。座間市の全域からきている利用者ですが、避難場所は事業所のあるところでいいのでしょうか？

（特別養護老人ホーム相談員 坂間委員）

台風19号の際に、コミセンなどの避難所（一次避難所）が解放されたかと思いますが、今までにあまり避難をした例がなく、避難所の様子がわからないため、利用する立場としては利用しづらいと思います。必要時にすぐに避難できるようにもう少し情報があると利用しやすいのではと思いました。例）避難後どうなるのか、持参した方が良いものがあるのか、飲食物などはあるのか、など。

（介護老人保健施設 吉田委員）

実際に災害が起きた時に情報弱者と思われる独居の方、高齢者の方の避難の周知はどのような方法があるのか？

(新田宿地域包括支援センター 高間委員)

以前の防災マップと今回の防災マップの違いについて。

(相武台地域包括支援センター 川南委員)

高齢者や障害者が避難するときの心構えは？

(相模が丘地域包括支援センター 後藤委員)

今のところ特にございません。

(立野台地域包括支援センター 松永委員)

- ・コロナ禍での避難における留意点や避難時に準備しておく物品等を教えて下さい。
- ・今回の防災マップを作るにあたって何を大切にしましたのか教えて下さい。

(ひばりが丘地域包括支援センター 平原委員)

- 1、避難場所と避難所（食事や布団の提供、準備するもの、期間、対象者、ペットの対応）
- 2、避難の周知
- 3、一人で自宅から動けない方の避難時方法
- 4、コロナ禍での対応

(栗原地域包括支援センター 金子委員)

災害時の情報はどこから入手すればよいですか？（いさまメール以外でも情報入手できるものはありますか）

(座間市地域在宅医療介護連携支援室 嶋崎委員)

- ・在宅介護の高齢者が、避難する際の方法、手順を教えてもらいたい。
- ・平時において、事前準備しておくこと（持ち出し品以外で）にしておくことは何か、
- ・誰に連絡をすればよいか、（例えば、市に連絡すれば良いのか）また、近くに家族等の協力者がいない場合は、どうすればよいか、さらに、協力者をどのように作るか、などを教えてください。

(座間市地域在宅医療介護連携支援室 野中委員)

一人では避難することができない独居高齢者に対する対応策は？

2) その他（自由記載）

(座間市薬剤師会 吉永委員)

防災については、住んでいる人全員が対象であることが理想だと思います。

子ども、障害者を含め、全員に情報を把握しておいてもらわなければ、ならないと思います。

また有事の際は、一般の方の手が必要となります。しかしながら、いきなり大きく広げすぎる

と收拾がつかなくなるので、まずは高齢者対象から進め、行く行くは住民全員のものとなるよう発展させると良いと思います。

(ざま介護支援専門員協会 藤川委員)

台風19号の際、座間高校に避難した方の経験談では、階段が登れず複数人で担いで2階にあげてもらったという話を聞いた。一方、公民館に避難した方はエレベーターが使えてよかったという話があった。避難先によってできることや環境が異なると思うが情報があるといいと思う。話を聞いた方皆さんが共通して避難所のスタッフの対応がとても親切でありがたかったとおっしゃっているのはこの機会にお伝えしたい。

(座間市訪問看護ステーション連絡協議会 大石委員)

訪問看護では、契約の際に緊急避難所はどこか確認しているが、わからないとおっしゃる方が大半である。再確認のためにも防災のための係わりは必要だと思います。

(訪問介護事業所 富山委員)

台風19号のときに在宅で出た課題の一つに、大災害のときの独居で動けない方の避難方法、または支援の仕方でした。震災のときなど、介護士や看護師などがすぐに訪問できなくなった時の対応、だれが見に行くのか。など、有事のときの具体的な対応は、事が起こってからではなく、東北の震災のことを聞くなどして備えておく方が良いと思います。

(小規模多機能 筒井委員)

認知症の人が避難場所に行って過ごす事が出来るのかどうかよくわからないでいます。状況が理解できないため、環境が違うことで不安になり、BPSDが現れるケースも少なくないと思います。認知症の人の対応にはそれなりの知識がある方か専門職の対応が必要になります。小規模多機能のような事業所が受け皿になった方がいいのでしょうか。

(相武台地域包括支援センター 川南委員)

時間に余裕があれば座間市のこれまでの取り組み、コロナ禍での他市の取り組みなども時間に余裕があれば聞いてみたい。

2 第12回座間市地域包括ケア会議及び在宅医療推進協議会（書面会議）

1) 上記事前質問の追記意見

(座間市医師会 松山委員)

天災など有事の際の座間市担当部署の役割と連携方法について、講義して欲しい。

(座間市訪問看護ステーション連絡協議会 大石委員)

利用者の大半は大地震等の災害が起きた時は、緊急避難場所という事さえも困難なので、自

宅から離れないと仰っています。

近年座間市全体での大掛かりな避難訓練を行ったわけでもないと思いますので、想定外な事も多々あるのではないかと思います。

(栗原地域包括支援センター 金子委員)

事前質問の数が多いので、全てを意見交換会で返答するのは時間的に難しいと思われるので、書面での Q&A も用意してもらえると良いのではないかと思います。

(病院ソーシャルワーカー 石川委員)

別紙3の最後にある、エレベーター設備の内容にて思ったのですが、各避難所へ優先的に受入を行う方を決めておき（エレベーターのある避難所には車椅子の方優先など）、設備なども含めた一覧情報を災害マップ等で市民へ周知することはできないでしょうか？

(ひばりが丘地域包括支援センター 平原委員)

民児協の方や自治会長に渡されている要援護者の方への災害時の対応を話してほしい。またこれに関しては福祉長寿課さんにも参加して説明してもらいたい。（民児協阿部会長から）